

富士センコー運輸株式会社

■ 深刻な人手不足

富士センコー運輸は総合物流企業として全国展開するセンコーグループホールディングスのグループ会社として平成3年に設立されました。現在は貨物自動車運送と構内荷役作業などを中心に各種自動車修理や損害保険業務など幅広い事業展開をしています。

他の運送事業者と同様に、同社でも人手不足は深刻で、取締役事業部長の小野透さんによると、求人誌などの紙媒体やハローワークを中心に募集をかけてもまったく人が集まらず、シルバー人材センターなどを活用しても、思うような人材が見つからなかったということです。小野さんは「定年延長や再雇用が一般化して60歳前後で仕事を辞める人が減ったのではないですか」と推測しています。

■ ユニバーサル就労との出会い

同社でも定年などで退職する人は毎年一定程度いますが、その不足を補うための人手が苦勞してもなかなか集まらないというのが悩みでした。

そんな悩みを抱えていた平成29年、富士市ユニバーサル就労支援センター（以下「支援センター」という。）が発足し、支援員から高齢の働き手の紹介がありました。ユニバーサル就労についてはそれまでよく知りませんでした。まずは社内の職場見学の受け入れを決め、これまでに物流センターや工場内の職場に9人が訪れました。同社では職場体験などで訪れた人が正式採用となって定着するまで支援センターが支援してくれることや、就労に向けた訓練や研修をセンターが実施してくれることなど、不安がかなり解消されたと

いうことで採用に踏み切ったそうです。社内においても、上司から許可が下り、現場でも理解が得られたということです。

ただ昨年、支援センターを通じて初めて採用した60代の男性は体調を崩して辞めることになってしまい、その後2人目の方を採用し、現在でも就労しています。



小野透取締役事業部長

■ 短時間労働を希望

現在働いているのは66歳の男性Aさんです。Aさんは前の職場を定年退職し、年金生活に入りましたが、年金だけでは生活費が不足すると考え、体力的にも可能な短時間労働の職場を探したということです。しかしハローワークでもシルバー人材センターでもAさんが望むような短時間労働の職場はなく、また企業側の希望する年齢帯にも合わず、平成30年2月に「くらし・しごと相談窓口」を通じて支援センターを訪れました。

支援センターでは履歴書の書き方や面接の仕方など就職のための研修やセミナーへの出

席、Aさんの希望に沿うような企業訪問などを重ねました。そして5月に富士センコー運輸を見学、その後就労体験を経て働くことが決まりました。Aさんは「年金もあるのでそれほどたくさんの給料はいりません。暑い時期の仕事は大変ですが、それ以外は大変と思いません。年齢が近い人が大勢いるのも働きやすいですね」と満足そうです。現在Aさんは主に荷物の移動作業などを担当し、1週間のうち3日間は午前8時から午後4時までほぼフルに働き、残る2日間は午前中だけの勤務となっています。

■今後も受け入れを進める

小野さんが支援センターの活用を考えたのにはいくつかの理由があります。まず世の中全体が“人財”確保が非常に厳しい環境に変わってきており、企業が積極的に採用活動を展開しても、求人はもともと応募者あつてのもので就職希望者からの連絡待ちという受け身の面が強いことです。また面接による人物判断や応募者の職場適性も、受け入れる会社側が自己の判断でしなければなりません。さらに、企業は人財採用に関わる費用は先行投資と考えてはいるものの、短期間で退職されてしまうというリスクも負わなければなりません。

一方で支援センターと連携するとさまざまなメリットがあります。例えば就労希望者の仕事への適性や本人の性格などがあらかじめ正確に伝えられます。また、就労希望者の職場に対する適性を、職場見学や数時間の就労体験、1週間程度のコミュニターとしての体験など段階を経て判断もできます。さらに勤

務することになった人に対する支援センター担当者のフォローなども期待できます。

富士センコー運輸では、ユニバーサル就労希望者の受け入れの準備として、受け入れ予定者の事前情報を得て、その方が働くことのできる可能性のある職場を検討し、支援センターと就労希望者にはその職場環境で働くことが可能かどうかを提示して判断をした、と言います。

同社では作業内容など職場環境をあらためて見直すとともに、支援センターと就労希望者に関する情報交換を行いながら、欠員がうまれるようなら支援センターからの就労の申し入れを受け入れていく予定だということです。

小野さんは、市が開いた研修会で近藤武夫・東京大学先端科学技術研究センター准教授が提唱した「超短時間雇用」についても興味があるようで「会社としては本人がこちらのニーズを満たしてくれれば短時間労働でも構いません。ぜひいろいろな働き方をしたいです」と話しています。



富士センコー運輸株式会社
＝富士市大野新田